

植物多様性センターの「コナラの若葉の色比べ」

武蔵野ゾーン雑木林エリアの林縁でコナラの若い実生の新葉が開き始めています。同じコナラの親木から落ちたドングリでも、芽ばえた実生はひとつひとつ個体差があり、色や形が異なります。肉眼で観察するだけで、遺伝子の多様性について学べる興味深い現象です。情報館の4月のエントランス展示は”芽ばえ”の観察です。学習園で見ることのできる樹木や野草の様々な芽生えを展示していますので、併せてご覧ください。



濃いピンクの細長い葉：白い毛に覆われて輝く美しさ



淡い黄色の丸みのある葉：葉の表裏とも白い絹毛が密生する



白っぽく細長い葉：葉の基部には冬芽の芽鱗(矢印)が残る



赤味がかったオレンジ色の葉：葉脈の色は黄緑色